

有形登録文化財連続セミナー 第7回

駒澤大学の誕生と国登録有形文化財 「駒澤大学旧図書館」

約3年ぶりとなる「登録有形文化財連続セミナー」を下記のとおり催します。

昨春、登録有形文化財に認定された駒澤大学の旧図書館（禅文化歴史博物館・耕雲館）は、駒沢給水塔とほぼ同時期に完成。当時の駒沢エリアの地域開発などの観点も含めたお話とともにガイドツアーも行なっていく予定です。ぜひお誘い合わせてご参加ください！（参加費無料）



と き： 2026年2月14日（土）
10:00～11:30（受付開始9:45）

ところ： 駒澤大学 駒沢キャンパス
3号館（種月館）202 教場



定 員： 下記のいずれかの方法でお申し込み下さい（定員 30 名）



- ①電話：070-5363-9674（コマQ・葛西）
- ②メール：mail@koma-q.com 宛に下記を記載して送信
 - 1) 氏名、2) 連絡先、3) 同伴者数、4) 会員・非会員の区別（スマホの方は左のQRコードからメールできます）

講 師： 佐藤 大樹 氏（禅文化歴史博物館 学芸員）

1977 年東京生まれ。駒澤大学禅文化歴史博物館学芸員、元日本銀行金融研究所貨幣博物館学芸員。2010 年より現職。専門は貨幣を通じた日中交易史（考古学）。禅文化歴史博物館着任後は専門分野の他、大学の歴史に関する調査・研究・展示等を担当し、駒沢の地域史の視点から駒澤大学の歴史を論じる。今年度、国の登録有形文化財となった「駒澤大学旧図書館（禅文化歴史博物館・耕雲館）」の申請等に携わり、有形文化財（建造物）登録記念企画展「大正モダン 復興の図書館」を担当。関連する著作に「曹洞宗大学の移転先はなぜ「駒沢」になったのか？—地域史から考える—」、展示は企画展「関東大震災と駒澤大学」、大学史展示「駒沢移転 110 周年記念展示 麻布から駒沢へ」などがある。

主催：駒沢給水塔風景資産保存会

このチラシは「令和7年度地域の絆連携活性化事業」により作成しました

駒沢給水塔の将来を考える